

2022年1月

2021年度
四万十町地域イノベーター養成講座
第6回 ビジュアルレポート

高知大学 地域協働学部
コミュニティデザイン研究室

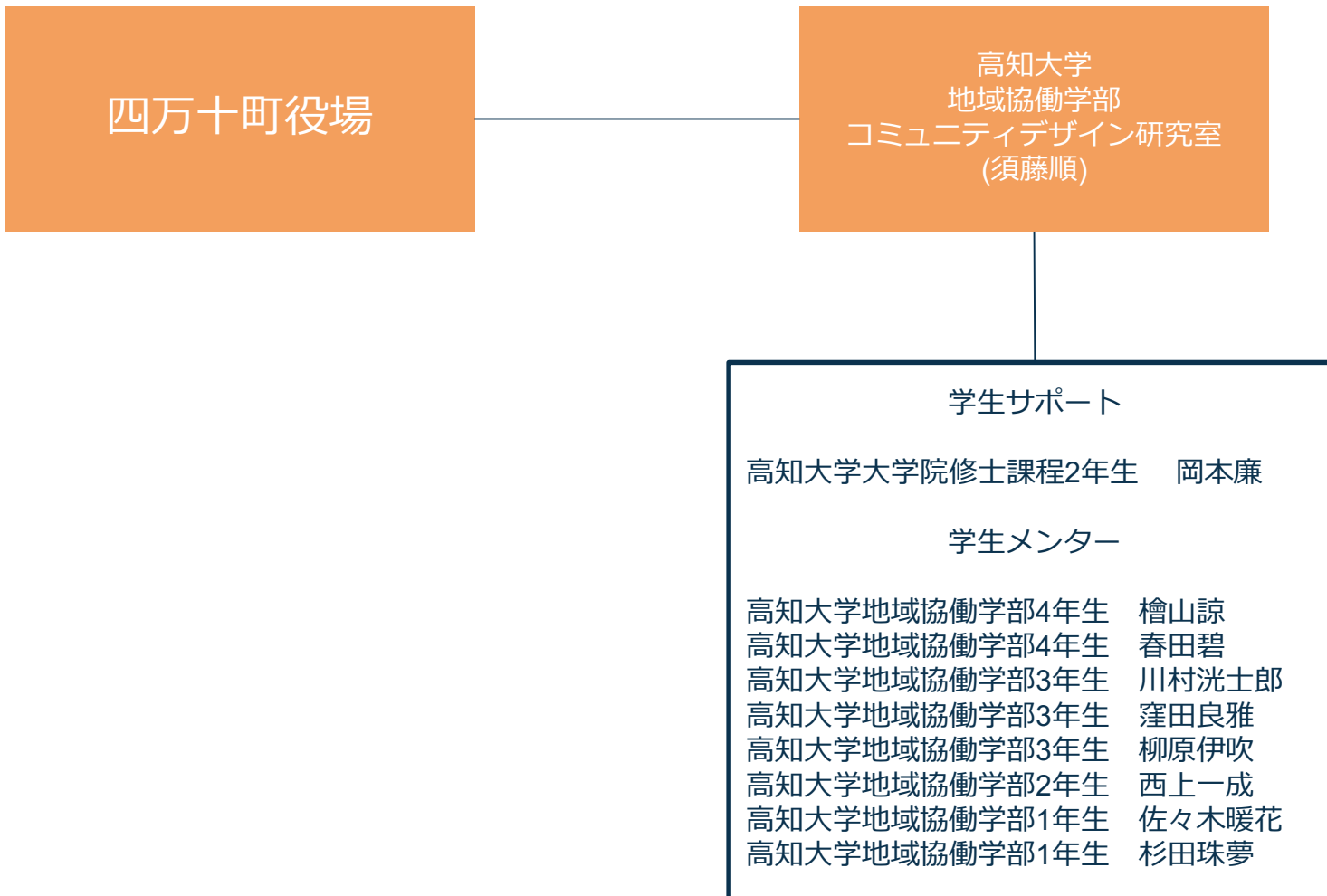
実施概要

- 日 時：令和4年1月22日（土） 13時00分～18時00分
- 会 場：岩本寺
- 主 催：四万十町・高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室
- 実施内容：「地域のために何かしたい」「起業をしてみたいけど、まだ勇気がない」「何をして良いのかわからない」そういった方々を対象に全6回の地域イノベーター養成講座を開催。
一人ひとりが自分事として、地域課題解決や活性化を目指す「チャレンジする人材」の学びの場。

【タイムライン】

Time	Theme	Contents
13:00-13:20	チェックイン	<ul style="list-style-type: none"> • 今の気持ちを話す
13:20-14:30	キーノートスピーチ	<ul style="list-style-type: none"> • 小澤いぶき氏 (NPO法人 PIECES代表)
14:30-17:50	最終報告	<ul style="list-style-type: none"> • 自分自身のアクション、気づきをまとめて発表
17:50-18:00	任命書授与	<ul style="list-style-type: none"> • 受講生に地域イノベーター任命書を授与

実施体制



**1人ひとりが自分事として、
地域課題解決や活性化を目指す
「チャレンジする人材」の学びの場**

目指すべきゴール

1

一人ひとりが自分の経験の中から、自分自身のミッション（使命）を見つけ出す

2

“ジブンゴト”で取り組むことができるプロジェクトを自分自身で生み出す

3

ジブンゴトのプロジェクト（マイプロジェクト）に取り組む仲間同士がともに切磋琢磨しながらも支え合う関係を創る

マイプロジェクトとは？

自分に基づいた (My)

「何かを、プロジェクトの形にして (pjt) やってみる」
ことから始まる、自分や世の中の変化の物語

自らの経験の中から、
自分のミッションを生み出していく

マイプロで活用するシート

マイプロ Me編	名前 (ニックネーム、読んでほしい名前、その由来)	作成日: 場所:
似顔絵・写真	みんなが知らない自己紹介	
自分ストーリー 昔 (小学校)	人生グラフ:横軸は年で、縦軸はイキイキ度(幸せ度)。人生で輝いていた時、読んでいた時を見つける化しよう!	
(~中学・高校)	みんなが知らない自慢・一発芸・得意技	
(~専門・大学)		
(~現在)		
今		
マイプロジェクトの源泉へ		

← me編シート

- ・自分のライフヒストリーや好きだったこと、楽しかったこと、つらかったことなど
- ・自分の人生をグラフにしてみる
- ・普段見せない自己紹介

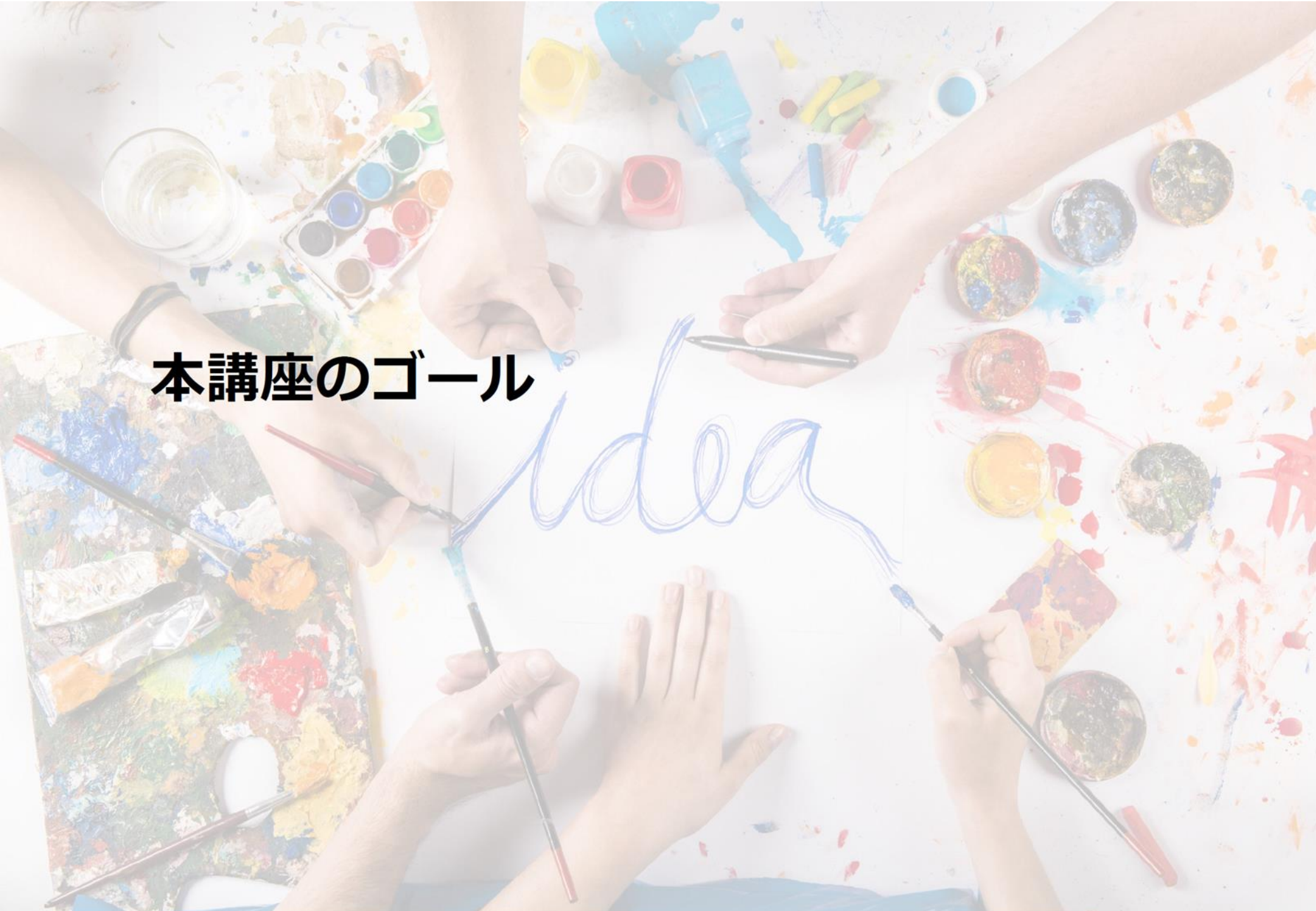
project編シート→

- ・自分と紐づいたプロジェクトを書き出す
- ・それは誰にどんな価値を生み出すのか

PROJECT編	
わたしのプロジェクト(マイプロジェクト)を一言で!	
■実践したいプロジェクトの概要	
↑	↓
■「やってみたい!」と思った、理由や背景、原体験	■「誰」にどんな価値を生み出しますか?

本講座のゴール

idea



- 1** **自分が情熱を傾けられるモノ・コトを自分の経験の中から見つけ出す**
- 2** **「アクションしながら学びを得る」ことを意識し、徹底して、行動と対話を繰り返す**
- 3** **自分らしいと思えるプロジェクトを描き、自然体で向き合える仲間づくりを行う**

場のルール

Growth

Vision

Resea

Business

Success

Marketing

Sup

Cre

場のルール

- 1 安心・安全の場をみんなで創ろう
- 2 ありのままの自分を素直に出そう
- 3 仲間・プロジェクトを評価しない
- 4 プロジェクトは変わってOK
- 5 お互いに貢献し合う

講座の様子

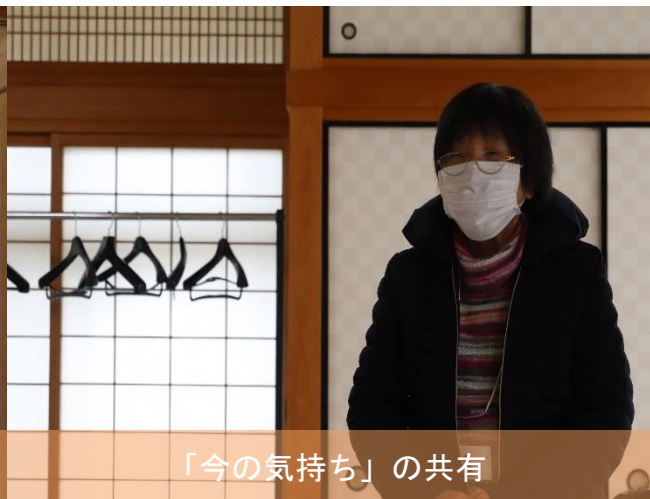


チェックイン

チェックインでは、「今の気持ち」を受講生全員で共有した。「もう最終回ということに驚いている」と話す人や「最終回で行う発表についてしっかりと準備をしてきた」など、それぞれ今の思いを共有した。オンラインで参加している受講生も、zoomを通じてチェックインに参加した。受講生の中には、発表することに緊張している人もいたが、チェックインはこれまでと同様ににぎやかな雰囲気で行われた。



チェックインに参加する受講生



「今の気持ち」の共有



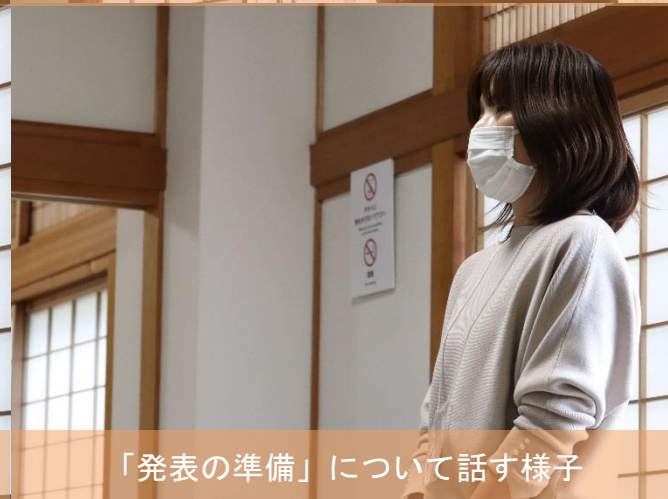
今の気持ちを話す受講生



オンラインの受講生に話す様子



カメラに向かって話す様子



「発表の準備」について話す様子

キーノートスピーチ

キーノートスピーチでは、小澤氏より講義が行われた。

小澤いぶき（NPO法人 PIECES代表）

精神科医を経て、児童精神科医として複数の病院で勤務。トラウマ臨床、虐待臨床、発達障害臨床を専門都市で臨床に携わり、多数の自治体のアドバイザーを務める。さいたま市の子育てインクルーシブモデル立ち上げ・プログラム開発に参画。2016年、ボストンのFish Family Foundationのプログラムの4名に推薦されリーダーシップ研修を受講。2017年3月、世界各国のリーダーが集まるザルツブルグカンファレンスに招待、子どものウェルビーイング達成に向けたザルツブルグステイトメント作成に参画。

◆NPOの設立

小澤氏は人や集団が理由をつけて殺し合うことや、対立することに対して幼少期から違和感を感じていた。そういった人と集団の対立を解決したいという気持ちから精神科医の道を選び、子どもと向き合い活動してきた。しかし、医者として子ども達と関わる中で、子どもの抱える心境は単純なものではなく、複雑骨折のように問題が入り混じっていることに気づいた小澤氏。医者として目の症状に対処するだけではなく、世の中の構造から変える必要があると考え、NPO法人 PIECESを設立した。

◆わたしたちのwell-beingを紡ぐ《市民性を醸成するプログラム》

NPO法人 PIECESでは、子どもが誰かを頼ることができないことによって孤立してしまうことを背景に、「Citizenship for children」のプログラムを実施している。プログラムでは子どもが信頼できる大人を地域に増やすことを目指し、座学、ゼミ、実践・リフレクションというプロセスを繰り返し行い、子どもと自分にとってふさわしい関わり方を探求していく。地域ごとに多様な団体と協働しながら参加者は自分なりの市民性を変化させていっているという。

◆「子どもたちのための支援」から「私たちのwell-being」へ

子どもにとって大人の言動は権力的、抑圧的になってしまう場合がある。子どもの多様性を見つめるためには、自分なりに社会に働きかけていくことが重要だと小澤氏は考える。また最近では、「REFRAME LAB」と題したアートプロジェクトも実施している。2020-2021年度は、「ミエナイモノと世界をあそぶ」をテーマに、子ども達と絵本やアニメーション動画の作成を行った。物語を通じて自分ひとりの視点を超えて、生物や他者、空間などあらゆるものへと想像力を拡張していくアプローチとなっている。



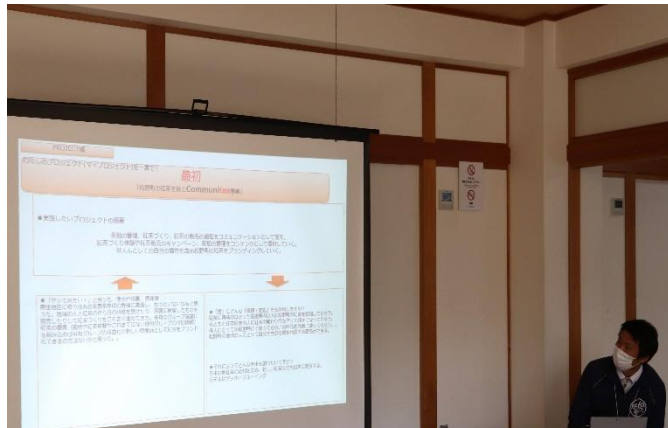
講演をする小澤氏



小澤氏の話聞く受講生

最終報告

受講生は、講座を受講することを通じて感じた「私の変化」や自分自身のアクション、気づきを事前課題としてまとめ、当日は1人ずつ発表した。発表後には、質疑応答の時間を設け、他の受講生や学生メンターからの質問や感想に答えていた。プロジェクトを進めるなかで、「今までにない気持ちの変化に気づいた」「自分が持っていた価値観や考えを発見した」といった発表も見られ、次回もまた参加したいという感想を述べる受講生もいた。



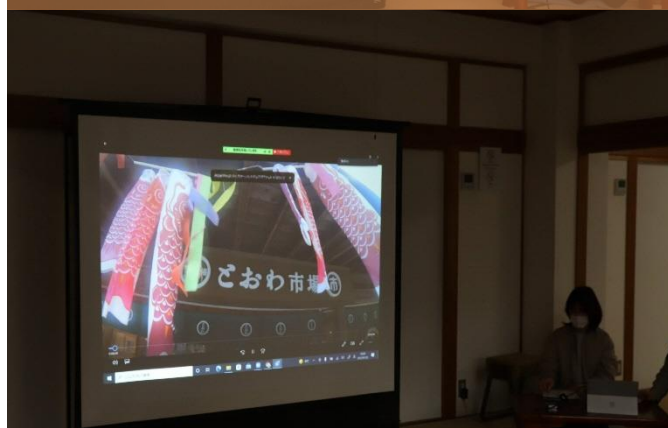
受講生が発表する様子



質疑応答の様子



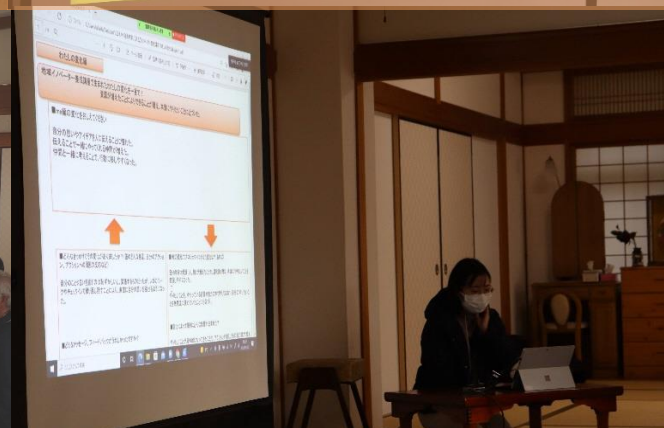
写真を使っでの発表



動画を使っでの発表



発表を聞く受講生の様子



受講生の発表

任命書の授与

地域イノベーター養成講座に参加し、最終報告を行った受講生に地域イノベーターの任命書が授与された。副賞として、学生メンターが受講生に向けて作成したメッセージカードと写真が散りばめられた色紙もプレゼントされた。2021年度は受講生全員が地域イノベーターとして任命された。



任命書を読み上げる様子



副賞の授与



任命書を受け取る受講生



オンラインの受講生に向けて

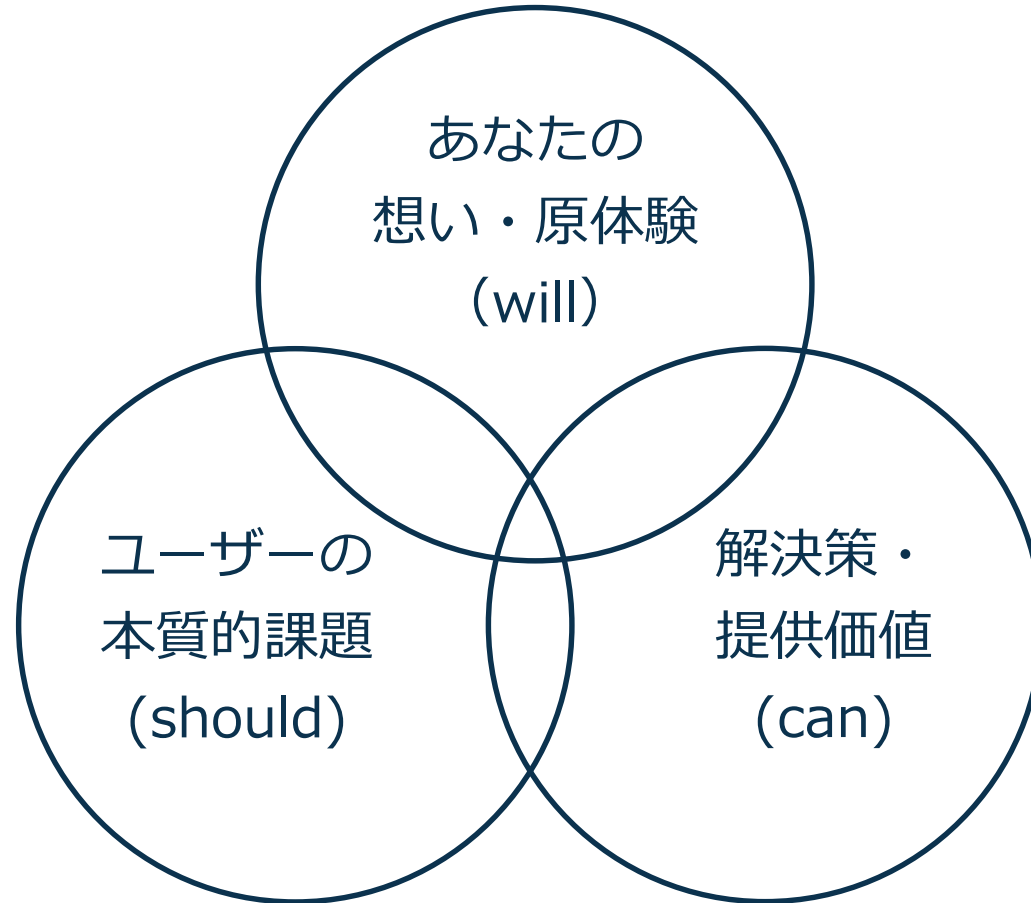


任命書を受け取る様子



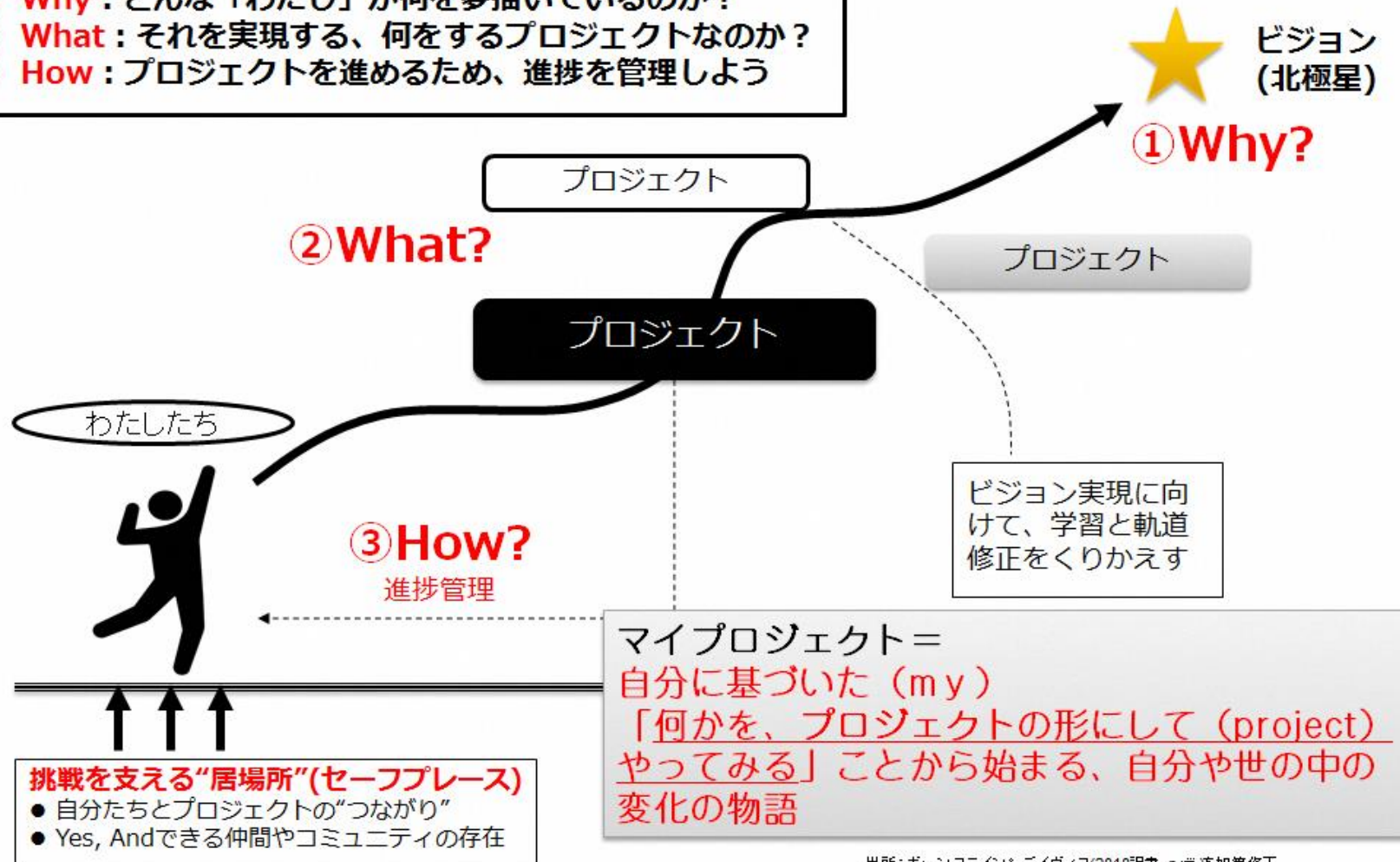
副賞を受け取った受講生

ポイント：徹底して自分のwillに向き合う



ポイント：プロジェクトを通じて自分の行先を見つける

- ① **Why** : どんな「わたし」が何を夢描いているのか？
- ② **What** : それを実現する、何をするプロジェクトなのか？
- ③ **How** : プロジェクトを進めるため、進捗を管理しよう



出所：ボーンSTEIN&テイヴィス(2010訳書, p.104) 追加筆修正
※ 井上英之作成

問い合わせ先

四万十町役場 人材育成推進センター

担当：横山 光一・吉村 愛

〒786-0008 高知県高岡郡四万十町榊山町3番7号

TEL 088-022-3163 FAX 088-022-3123

E-mail 103060@town.shimanto.lg.jp

高知大学地域協働学部コミュニティデザイン研究室(須藤順研究室)

担当：准教授 須藤 順

〒780-8520 高知県高知市曙町2-5-1総合研究棟1階

TEL 088-788-8077 FAX 088-888-8043

E-mail j.suto@kochi-u.ac.jp

Web <http://www.communitydesign-kochi.jp/>

※本講座に関する問い合わせは上記までお願いいたします。

※本資料の無断での配布、外部組織や個人への配布・閲覧、及び二次使用は、固く禁止させていただきます。